



THE MAGIC OF ROTARY

クラブ週報

五城目ロータリークラブ

○ クラブ広報委員会

(本年度第 33 回例会)

◎ ロータリーのマジック

第 2795 回例会
令和 7年 5月 22日(木)
午前 12:30~



☆ 点鐘

◎ ロータリーソング : それでこそロータリー

◎ 会長の時間 : (今村会長)

..ようやく今日皆さんに週報など約1カ月遅れて追いつきました。よろしくおねがいします。今日は地区の予算書(案)が来ましたので、次期会長さんにお渡しします。地区研修協議会で審議されます。先週の例会で、畑澤会長エレクトが、次年度のガバナー公式訪問が7月24日(木)に決まったというので、30年ほど前の計画書を出して見ました。その頃は、公式訪問の前の日午後3時から会長幹事の面談があり、その後各委員長から、報告、計画を話してもらって、ガバナーが助言指導をするという順序でした。今はガバナーが一方向的に話をするだけで、誰でもガバナーをやれるようになりました。地区が広がったので、2日間なので、前日が終わると、懇親会をやって、その後は必ず2次会で、仲よし、松鯉亭に移動したものです。次の日が「公式訪問」でした。今は公式訪問の当日午前11時から、会長幹事面談、定刻の12時30分から「公式訪問」となっています。7月にはガバナー公式訪問がありますので、皆さんご出席をお願いします。

今日は川村会員のスピーチがありますので、よろしくお願いします。以上です。

☆ 幹事報告(八木下幹事)

*6月の例会日程について、12日(木)が理事会です。19日(木)が夕食例会、午後6時より。26日(木)通常例会です。*6月7日(土)に地区研修協議会が由利本荘市・「本荘グランドホテル」であります。*ロータリー希望の風『風の便り』10号が来ています。回覧します。*潟上ロータリークラブの故小玉輝雄さんの忌明けのお知らせが来ています。

☆ 会員スピーチ(川村会員)

..地球環境を「循環系」で考えるということで、「宇宙の誕生の歴史」からずっと紹介して来ましたが、今回は第7章の『海洋の循環』を紹介したいと思います。今回、日本海と秋田県の関係、海洋ですので日本海が関係します。『海洋の循環』では、項目として「海洋と地球環境」で水には比熱と潜熱がありますが、これは熱平衡状態になって、地球は穏やかな気候になり、生物が生存進化していったと言えます。二つ目として紹介するのは、太古の藍藻類の光合成ということで、現在オーストラリアの方でも一部見られる。それから「海洋での二酸化炭素の吸収」は非常に大きな役割を果たしている事と、海というのは物質が最終漂着地点であるという特徴がある事と、熱塩循環、風成循環、海水が湧き上がる循環の関係、それから最後に大陸棚が領土・領海と密接に関係していることで、それも紹介したいと思います。海の海水の成分は下記に。これは海水の成分で、塩素とナトリウム(塩)です。主成分となっております。エネルギーの循環でもお話ししましたが、太陽から貰うエネ

ルギーと同じだけ地球から宇宙の方に熱を放出しているということで、バランスが取れて、地球表面の平均気温が15度で保持されている。その中で海水の役割と言うのは、非常に大きいと、この所で紹介しています。

「ストロマトライト」これは太古の光合成をやっているバクテリア（藍藻類）がオーストラリアのシャーク湾のところで、かなり塩分濃度が濃いそうですが、30億年前の藍藻類の化石です。それから、二酸化炭素を吸収するという事で、光合成が海の中でも植物性のプランクトンか藻類が、人類が放出する二酸化炭素を約2分の1を海水の方で吸収していると言う事で、地球全体の気候変動調節の役割を果たしていると紹介されていました。

それと最近問題になっているのが、陸上で生成された化学物質は、最終的に海に流されていきますけれども、化学物質というのは、非常に寿命が長い、それが蓄積されると海の海洋汚染というのが深刻だと言う事と、もう一つ分解されないプラスチック類、これが魚類の胃にかなり入って大きな問題になっているのが、海洋での環境の特性かと思います。

海水の塩分と言うのは、塩分濃度があるということで、その塩分濃度の関係で海水循環している。これは南極で氷になった時に、氷は真水になりますので、その分塩分濃度が濃くなった海水がもぐりこんで、最終的には赤道の所で上の方にあがってくる状況になっています。それから、風でも海流が循環すると言う事で、海水の流れも風に沿った形で循環すると言う事です。・・・中略。

大陸棚の話ですけれども、地理学的には、水深130mを大陸棚、大陸棚では、真水が混ざる海域であると言われております。皆さんご存知と思いますが、海岸線から12カイリまでが、領海、24カイリまでが接続水域、200カイリまでが排他的経済水域、と定義されています。その外の部分が公海と言ひ、領土領海の中で大陸棚というのは、非常に大きな役割を果たしていると言う事です。1カイリは1.85Km。地球の緯度に直すと、1度が1カイリです。それと日本では大きな問題になっているのが、ロシアとの関係では「北方領土」、韓国との関係では「竹島」、中国との関係では「尖閣諸島」ということで、この辺が領土の方で今ちょっと揉めているという、紛争があるところです。大陸棚と言うのはそう言う意味で国土の形成過程で大きな意味があるということです。

次に日本海と秋田県が、どういう関係があるかと言うのを紹介したいと思います。一般的には、衛星写真で見る日本海と日本列島の関係です。自然環境と地震ということで、秋田県の気候風土と言うのは、日本海が非常に大きな影響をしているので、日本海と言うのは、どういう様に形成されたか、そして海域関係がどの様なものであるか、秋田県に如何いう影響を与えているか、というのを紹介したいと思います。日本海には「日本海東縁ひずみ集中帯」というのがありますが、秋田県の地勢ということで、北は白神山地、南は鳥海山から神室山それに栗駒山で山形県、宮城県に接していて、東は栗駒山から奥羽山脈と千メートル級の連山で県境をなしている。西側は、日本海に開けている。この日本海と言うのが大きな影響を及ぼしていると言えるかと思います。自然環境の方ですが、日本海と外海との関係で、オホーツク海、太平洋、東シナ海というのは日本を海洋を中心に取り囲んでいる。日本海は約100万平方キロメートル。最大水深は3700m。大陸棚が発達していると言う事で、南から対馬暖流、北からリマン寒流が男鹿半島の沖合で交わっている良好な漁場を形成されている特徴があると思います。日本海と外海とどの様に接続しているかというのと、北の方は「間宮海峡」「宗谷海峡」「津軽海峡」、南の方は「対馬海峡」という形で日本海が構成されていることです。日本海がどういう風に形成されたかというのを調べて見ました。新生代第三紀中新生という地質時代にユーラシア大陸から分裂して、今から300万年前に列島の原型が出来たと言う事で、この様な形で紹介されております。東北日本と西日本が2つの大きな列島の塊で、それがガッチャンコして日本列島が形成され、糸井川静岡構造線と言うのが、衝

突した痕跡だと言われています。なぜ、日本列島が大陸から分裂したかという、マンツールの圧力が大陸を押し上げて、その亀裂のところに「日本海」が出来て、日本列島が出来たという形で説明されています。

日本海の海底の地形がどうなっているかというと、日本海の真ん中に、「大和海堆」という地形がありまして、日本海盆も大和海盆も対馬海盆もそれぞれ大和海堆を挟んで大きな深い海の盆地があるということですが、宗谷海峡、津軽海峡。対馬海峡で外海と海水の交換が水深が浅いので、なかなか海水の交換がされないと言う事で、日本海は固有水と呼ばれている海水が深い所で溜まっているという事です。これは日本海が各外海から見た場合、どのくらい閉鎖性の乖離であるかと視点を変えて見ると、日本海と言うのは、他の海に比べて狭い閉鎖性の水域であるというのが分かると思います。日本海がある事によって、秋田県の気候が和らげられるということで、冬場は中国の北京と秋田県は緯度が同じですが、日本海の海水がある事によって、北京と比べてそんなに寒くない。「その他、海流と漁業、鳥獣類の分布など、東北と北海道の違いをくわしく説明された。」（ここは省略）。

次に地震活動ですが、日本列島を取り巻くプレートということで、世界で10数枚のプレートがありますが、日本を取り巻くのは、「北アメリカプレート」「ユーラシアプレート」「フィリピン海プレート」と言うのがあると紹介されていますが、地震が集中している所がプレートの境でないかと、最近言われています。（下記の図）。新潟地震と日本海中部地震の間に地震の起きていない空白域があるということで、ここで連動して地震があれば、M8.7の地震が起きるのでないかと、それと東日本大震災の時は、東海トラフ地震よりも日本海溝地震の方がむしろ逼迫しているというのが、マスコミで報道されていないけれども、日本海溝地震では、M9.1で、被害総額も東日本大災害の倍くらいの大きな被害が起きるのでないかと、確率も高いということでもありますので、秋田県も少なからず大きな影響があるのではないかと注意して頂きたいと申し上げて終わりたいと思います。

（スピーチのところどころ抜けております。ご了解ください。）

☆ ニコニコ（自己申告） なし

*この地震の話は、昭辰町町内会でもやる予定にしております。

☆ 出席率報告

〔出席報告〕 12名中 7名出席 58%
事前メール 0名、申告欠席 5名、病欠欠席 0名

【例会場】  グリーンロイヤル丸富
〒018-1706 五城目町字下夕町 248
Tel018-852-2140 Fax018-852-4049

☆ 点鐘（午後 1：40）

ロータリー情報

「大館北ロータリークラブ・創立60周年記念式典」速報

出席・今村、八木下



記念事業



NPO法人ハートランドひまわりほへ
パソコン式を寄贈

小規模小学校へ図書のを寄贈

創立30周年記念植樹の手入れ



記念講演

17:00~

柳家 花ごめ プロフィール

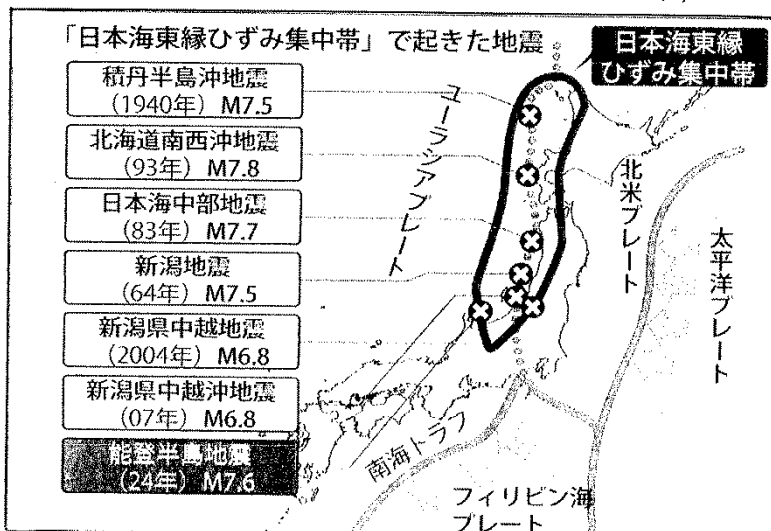
- 2009年 4月 柳家 花緑に入門
- 2009年 11月 前座として楽屋入り
前座名「まめ緑」
- 2014年 6月 ニツ目昇進 「花ごめ」と改名
- 2024年 9月 真打昇進

← 曲げわっぱのぐい飲み



ストロマトライト（オーストラリア・シャーク湾）

日本列島周辺のプレート境界と日本海東縁ひずみ集中帯で起きた主な地震の震源（Mはマグニチュード）



インターネットの情報

○将来の地震発生の可能性

地震の規模： M7.5程度

地震発生確率： 30年以内に、3%程度以下

平均活動間隔： 1000年程度以上

秋田県は、東日本大震災が連動型の巨大地震だったことを踏まえて2013年、この空白域を含む秋田県沖の3海域の連動地震について被害を想定している。想定では、マグニチュード8.7の地震が、男鹿市と三種町に最大震度7の揺れをもたらすとされている。

津波は、最も早い男鹿市には地震発生から14分後に到達し、その高さは最大9.8メートル。

海水の主要成分

イオン	含有量 (g/kg)
塩素 (Cl)	10.353
ナトリウム (Na)	10.766
硫酸 (SO ₄)	2.708
マグネシウム (Mg)	1.293
カルシウム (Ca)	0.413
カリウム (K)	0.403
炭素 (CO ₃)	0.142
臭素 (Br)	0.0674
鉄 (Fe)	ごく微量
モリブデン (Mo)	〃
亜鉛 (Zn)	〃
バナジウム (V)	〃
チタン (Ti)	〃
銅 (Cu)	〃
マンガン (Mn)	〃
...	...

歴史記録からは、この領域で発生したM7.5以上の大地震は知られていません。しかし、この領域の地学的なデータや周辺領域での大地震の発生期録から、M7.5以上の規模の地震が過去に繰り返し発生した可能性が高いと考えられています。

なお、1833年の庄内沖の地震（M7.7）と1983年の「昭和58年（1983年）日本海中部地震」の震源域の間に挟まれた秋田県沖の海域では、地震観測及び歴史記録からはM7.5以上の大地震の発生が確認されていないため、一般に「地震空白域」と呼ばれています。

南海トラフ巨大地震 -

南海トラフ巨大地震（南海トラフ巨大地震）は、フィリピン海プレートとユーラシアプレート（アムールプレート）とのプレート境界の沈み込み帯である南海トラフ沿いを震源域とする巨大地震。約100年～150年に一回の間隔で発生しており、時に超巨大地震となることもある。